



## 虎を表す色名における日英語の相違

虎は、ネコ科の哺乳動物で、ライオンと並ぶ大形の猛獣である。古代中国の陰陽五行説では西方の守護神として白虎が採用されており、実力伯仲の二人の英雄や豪傑は竜虎と呼ばれる。「雲は竜に従い、風は虎に従う」という故事もある。虎は、全身が淡い黄褐色から赤褐色の地色に黒や黒褐色の縞がある。

その虎の体色は、日本語では一般的に「黄色と黒」で表され、英語では *tiger* は、“black & orange” と表現されている。

この相違には、日本語と英語の色彩文化が反映している。英語の *tiger* は、「鋭い・尖った」を意味する古代 *Persia* 語の *thigra* が古代ギリシャに伝わり生じた語で、「すばやい動物」が原義の古代ギリシャ語の *tigris* に由来している。

日本では虎の皮は、古代より唐物の代表であり、古代中国の「洛書」には「五黄の寅」という占いの考えがある。日本の「張り子の虎」も、古代中国で虎が山の神や魔除けとして崇拝の対象であったことに由来している。

英語の *orange* は、日本語のオレンジ色よりも意味範囲が広く、赤茶色や茶褐色のような色も含んでおり、三毛猫の赤茶色の毛や金魚の色も表している。 (吉村耕治)

## ●色彩教材研究会キックオフ交流会

キックオフ交流会を開き、色彩教材研究会会員相互の交流を行い、色彩教材研究会でやりたいことを語り合うと同時に、色彩教材研究の将来について考えましょう。

◎参加対象：色彩教材研究会会員（学会全体に周知しますが、色彩研究会員以外の希望者には、教材研究会に参加の意思表示を求めます。）

◆日時：10月1日（日）13：00～15：30

◆場所：オンライン（Zoom 使用）

◆参加費：無料

◎話題提供：13：00～14：20

「1、色彩教材研究会の現状について」

「2、DIC デジタルカラーガイドの紹介

（DIC カラーデザイン（株）」

——休憩 14：20～14：30——

◎グループ交流会：14：30～15：20

「自己紹介」

「テーマ1、教材研究会でやりたいこと」

「テーマ2、デジタルカラーガイドの可能性」

交流会終了後に、グループごとにテーマ1、

テーマ2について簡単な発表を行う。

◎「今後の予定について」15：20～15：30。

是非、多くの研究会会員の参加をお願いします。 (主査 吉澤陽介)

## ●大辞泉ひろいよみ 34 え・お

**艶色**：えんしょく。あでやかな色。美しい色。つややかな容色。また、美貌の女性。

**演色性**：えんしょくせい。照明による物体の色の見え方の特性。色が自然光で見た場合に近いほど、演色性がよいという。

**鉛毒**：えんどく。鉛の毒。「鉛中毒」に同じ。

**鉛白**：えんぱく。古くからある白色顔料。塩基性炭酸鉛が主成分。かつて、おしろいにも用いられたが、有毒。白鉛、唐土。

**鉛筆**：筆記用具の一。木の軸に、黒鉛の粉末と粘土を混ぜ高熱で焼き固めた芯を入れたもの。輸入は明治十年前後。

**鉛筆画**：鉛筆だけで描いた画。スケッチや画稿として描かれる。

**鉛粉**：古く白粉に用いた、鉛を原料とする白色顔料。現在は塗料や絵の具に用いる。



**御色**：おいろ。「いろ」また「顔色」の丁寧語・尊敬語。紅をいう女性語。

**桜雲**：おううん。桜の花が一面に咲きつづいて、遠方からは白雲のように見えること。花の雲。

**黄鉛**：おうえん。クロム酸鉛を主成分とする、代表的な黄色顔料。クロムイエロー。（現在では毒性のため使用禁止） (永田泰弘)